

URGCC-Advancedマトリクス

【大学院教育プログラム学習教育目標とURGCC-Advanced学習教育目標との対応関係】

URGCC-Advanced学習教育目標		熱流体工学教育プログラム		
		専門性	創造性	倫理性
大学院教育プログラム学習教育目標	熱工学・流体工学を主とする機械工学及びその関連する工学分野における高度な専門知識と研究開発・研究推進能力を身に付け、国際社会に貢献できる人材の養成を目的として、修士の学位を授与する方針を定めている。そのため、次のような能力等を身に付けるという目標を設定している。 (1) 専門分野における高度な専門知識及び技術とその応用力 (2) 専門分野の問題に対し、状況把握と課題設定ができ、実践的で創造的な問題解決力 (3) 多様な人々と連携できるコミュニケーション能力及び論理的説明が可能なプレゼンテーション能力 (4) 技術者・研究者としての社会的責任を理解し、高い倫理性に基づき行動することができる能力	専門分野に関する高度な知識、技能、思考法を体系的に身に付ける。	知識、技能、思考を独創的・創造的に発展させ、活用することができる。	高度な倫理性を身に付けるとともに、社会的責任の熟慮を欠かさずことなく、主体的に行動することができる。
	○	○	○	
		(URGCC-Advanced学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 「専門分野における高度な専門知識及び技術とその応用力」によって「専門性」を身に付け、「専門分野の問題に対し、状況把握と課題設定ができ、実践的で創造的な問題解決力」を修得することで「創造性」を身に付ける。また、「技術者・研究者としての社会的責任を理解し、高い倫理性に基づき行動することができる能力」を学ぶことで「倫理性」を身に付ける。		